

音楽会の プログラム決まる

芸術局長 加山 明美

11月2日の音楽会のプログラムがほぼ決定しました。

第1部は、オープニングに東北の春夏秋冬の様子を歌った「ふるさと」の山影」、多くの皆さんと舞台をつくりたいと思い、ステータイトル「自由になるために」と題したステージは、日航の不当解雇支援の歌「あの空へ帰ろう」「人間の歌」「自由になるために」、男声合唱、女声合唱は、それぞれ演歌を選曲しました。太鼓は久しぶりの「走楽(らん・エイサー付)」でまさに太鼓と踊りの演奏となります。

第2部は、みんなであうたおうのコーナーから始まり、安達湯一先生推薦の「初心の歌」ぼくが小鳥に」、そして平和のステージへと進みます。久しぶりに取り組んでいる団内創作曲、昨年合唱発表会に向けて新しい編曲で臨んだ「原爆を許すま

じ」「日本国憲法九条」。新しい編曲の「原爆を許すまじ」は初めて南部地域の方達にお披露目です。また「日本国憲法前文」「イマジン」も新しく挑戦します。大きな柱はこのくらいですが、特に「自由になるために」のステージは、日航の原告の方や友の会のみなさん、地域の方々と一緒に大勢で歌いたいと思います。チラシ等が出来ます。是非一緒に歌いましょう。

第1回目は6月17日

(金)午後7時

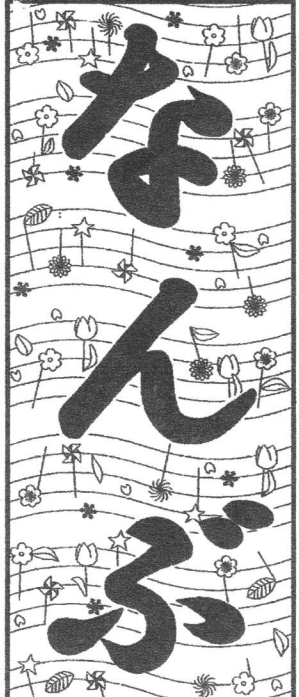
旗の台

文化セン

ターです。

直接お越し

ください。



<発行>

南部合唱団

連絡先 〒214-0022

川崎市多摩区堰

1-22-1-416

TEL: 044-833-6220

南部合唱団音楽会

「自由になるために」

11月2日(水)

南部合唱団音楽会 自由になるために

2011年11月2日(水)
開場 18:30 開演 19:00

きゅりあん大ホール
JR・東急 大井町駅下車

大人 2,000円 / 中高生・障 1,000円
小学生 800円 / (注)お申込み200円 / 当日200円増
全席自由 (福有量あり・要予約)

- 指揮: 安達 剛一
ピアノ: 中瀬 千央
- プログラム
- ◆自由になるために
作詞作曲: 川崎 一郎
編曲: 加山 明美
 - ◆人間の歌
作詞作曲: 山ノ本 竹彦
 - ◆あの空へ帰ろう(川崎一郎監修)
 - 作詞: 藤本 一良
作曲: 藤本 一良
 - ◆原爆を許すまじ
作詞: 遠野 三三
作曲: 水戸 敏二
編曲: 高橋 嘉次
 - ◆IMAGINE
作詞作曲: ジョン・レノン
編曲: 外山 盛三
訳: 林 有
 - ◆東北常盤に響ける
作詞: 藤本 一良
作曲: 藤本 一良
編曲: 加山 明美

創作曲・完成間近!

創作部長 三浦 敦

音楽会の重要な位置を占める(予定)で、合唱発表会や日ごろの演奏でも歌える創作曲をつくろうと鳴り物入りでスタートした創作部の活動も、いよいよ大詰めを迎えています。

4月29日には詞を完成させ、5月8日に曲を完成させて、ついに創作曲が完成しました。どちらも旗の台に半日岳詰め、笑いあり涙あり(?)の作業となりました。詞については、まさに数多くのピースをとつかえひつかえのパズルのような作業、

曲は、ほぼ小島啓介さんの作品がベースとなり、注文を付けて歌いながら譜面に起こすという集団

創作の形でまとまりました。タイトルは「言わなければならぬことがある」です。沖繩の自然を歌い、「基地撤去」、「安保放棄」をテーマとした、短いながらも中身の詰まった楽曲です。レッスンでお披露目しましたが、みなさん

はどんな感想を持ったでしょうか? 今後はフィードバックをもとに、さらに曲を磨き、伴奏を含めて合唱曲に編曲します。創作部では、この歌でオリジナルコンサートに出演しようとか、メロディーやアイデアが浮かんでくるもう2、3編の詞を完成させようとして話しています。あまり悠長なことを言っていないかもしれませんが、乞うご期待!といったところ

です。沖繩の自然を歌い、「基地撤去」、「安保放棄」をテーマとした、短いながらも中身の詰まった楽曲です。レッスンでお披露目しましたが、みなさん